

GuFAドリームプロジェクト2025 活動報告

大韓民国

2026年3月27日（金）～30日（月）

GUNMA FOOTBALL ASSOCIATION

目的

1. 国内では味わえない「非日常の体験」を感じることで、選手個々の成長促進を促す。
2. 2029年度国民スポーツ大会群馬県選抜チームで活躍を目指す意思のある選手と指導者のレベルアップを図る。
3. 国際経験を積むことで、サッカー選手としてだけでなくグローバルな「国際的視野」を持つきっかけとなる機会を提供する。

GuFAドリームプロジェクト概要

選考会は5回実施

練習会は5回予定していましたが、雪等により2月は開催なし

選考会	日程	会場
第1回	12月7日（日） 18:00	関南サッカーパーク
第2回	12月14日（日） 18:00	関南サッカーパーク
第3回	12月21日（日） 18:00	関南サッカーパーク
第4回	1月11日（日） 18:00	関南サッカーパーク
第5回	1月18日（日） 18:00	関南サッカーパーク

練習会	日程	会場
第1回	2月8日（日） 雪の影響で中止	
第2回	2月23日（祝・月） 会場都合で中止	
第3回	3月8日（日） 18:00 保護者説明会を実施	関南サッカーパーク 勤労福祉センター
第4回	3月22日（日） 18:00	関南サッカーパーク
第5回	3月26日（木） 15:00 雨の為、室内で実施	コーエィ前橋フット ボールセンター

GuFAドリームプロジェクト概要

【遠征地】 大韓民国 ソウル

【日程】 3泊4日 2026年3月27日（金）～3月30日（月）

※26日に伊勢崎市に前泊

【対象】 群馬県のチームに所属している選手で、中学生年代も群馬県内
チームで活動する小学6年生（男女）

【遠征メンバー】 30名（1名が怪我の為辞退）

【費用】 選手1名 10万円

（群馬県YAOP制度により1名あたり約10万円が補助）

【スタッフ】 7名

団長：田中則久（技術委員長） チーフ：東田学（U-12チーフ）

コーチ：生方育大（トレセン統括ダイレクター）

GKコーチ（主務）：中村楽（FAコーチ）

フィジカルコーチ：須藤祐太

トレーナー：田部井優香 森井綾香

大韓民国

■ 人口

約 5,100万人

首都のソウルに約1,000万人以上が集中

首都圏（ソウル・仁川・京畿道）に国民の約半分が住んでいるのが特徴

■ 気候

韓国は四季がはっきりしている温帯気候です。

春（3～5月）

温暖で過ごしやすい

花粉・黄砂（中国から）あり

夏（6～8月）

高温多湿（日本と似ている）

梅雨あり（6～7月）

台風の影響も受ける

秋（9～11月）

涼しく乾燥、一番過ごしやすい季節

紅葉がきれい

冬（12～2月）

非常に寒い（特に内陸）

-10℃以下になることも

乾燥していて雪は少なめ（地域による）



A large, light grey shield-shaped logo with a white outline, featuring the word "GUNMA" in a stylized font across the center.

ゲームでのテーマ：4つの局面

体格やスピードの違いに戸惑う選手たちへ、
コーチ陣から伝えた具体的な目標と意識づけ

攻撃と守備の意識



攻撃のテーマ

簡単にボールを失わない！ボールを持ったらコントロールとパスの質にこだわる。

周りをよく見て自分で判断し、持っていない選手もサポートの距離と角度を意識。そして、常にゴールを狙う姿勢を持つこと。



守備のテーマ

球際で絶対に逃げない！しっかりと相手に身体をぶつけてボールを奪い切る。

個人の単発のプレーで終わらせず、チーム全員で連続・連動して守備の網を張る。

攻守の切り替え（トランジション）



⇒ 攻撃から守備へ

ボールを失った瞬間に、全員でパッと頭を切り替える！

休むことなく、すぐにプレッシャーをかけてボールを奪い返しにいくアグレッシブな姿勢を徹底する。

⚡ 守備から攻撃へ

ボールを奪ったら、まずは攻撃の優先順位（前線、ゴール方向）を考えながら素早くスタートを切る。

味方とのサポートの距離と角度を意識して、スムーズにパスをつなぐ。

遠征を通じた成長とネクストチャレンジ



攻撃の成果

良い距離感でプレーできた時は連携からゴール前まで迫れました。最後の「フィニッシュの精度」向上が今後の課題です。



守備の成果

身体をぶつけてボールを奪える場面が増加。クロスボールの守備でマークを外してしまう癖の修正が今後の課題です。



切り替え

時間帯によってできたりできなかったりと波があったため、試合を通してずっと継続して体現できるようになることが目標です。

異文化からの学びと今後の反省

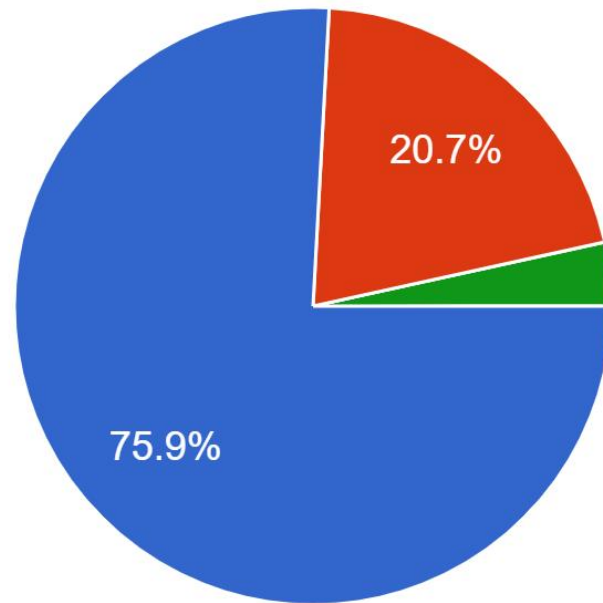
- **韓国チームのメンタリティ**：どんなに点差が開いても決して手を抜かず、貪欲に点を取りに来る国民性に強く刺激を受けました。
- **食文化の体験**：滞在中は様々な韓国料理に挑戦！本場の味を楽しみ、仲間との絆も深まりました。
- **今後の反省点（運営面）**：移動距離が長く、結果的に選手たちの睡眠時間が少なくなっていました。
- 今後の遠征では、しっかり休んで万全のコンディションで活動できるようなスケジュール作りを目指します。



アセスメント

遠征に参加して良かったですか？

29 件の回答

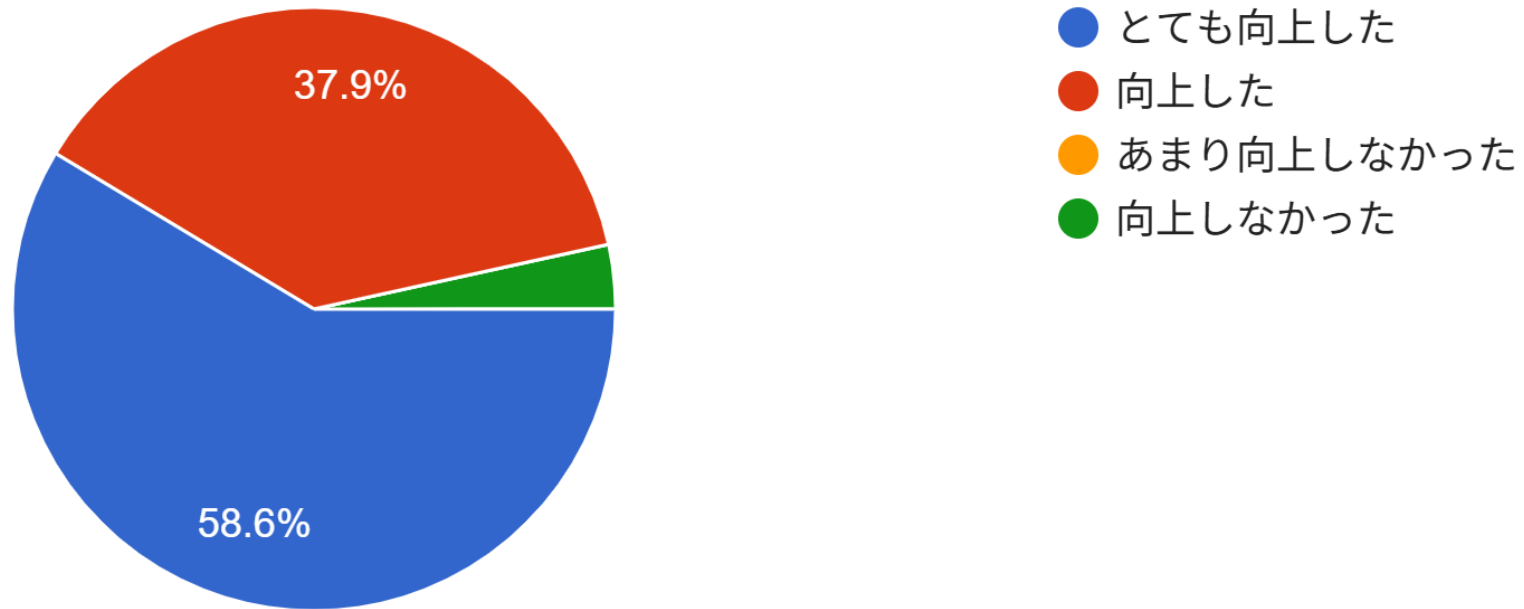


- とても良かった
- 良かった
- あまり良くなかった
- 良くなかった

アセスメント

遠征に参加してサッカーに対する考え方や取り組みは向上しましたか？

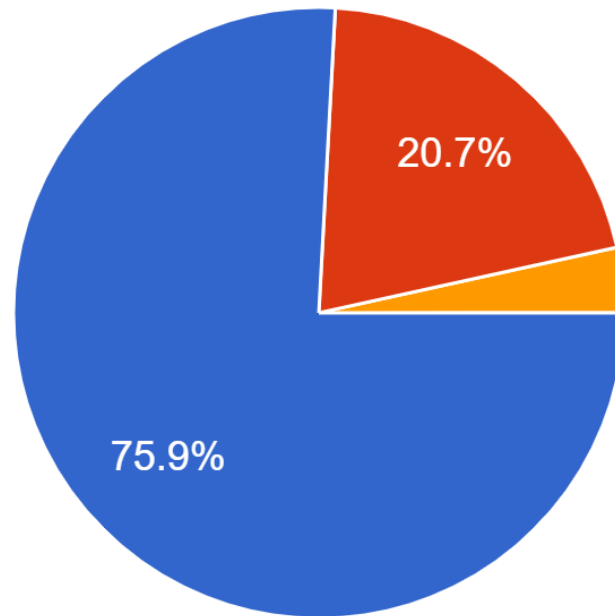
29 件の回答



アセスメント

遠征を通して学ぶことはできましたか？

29 件の回答

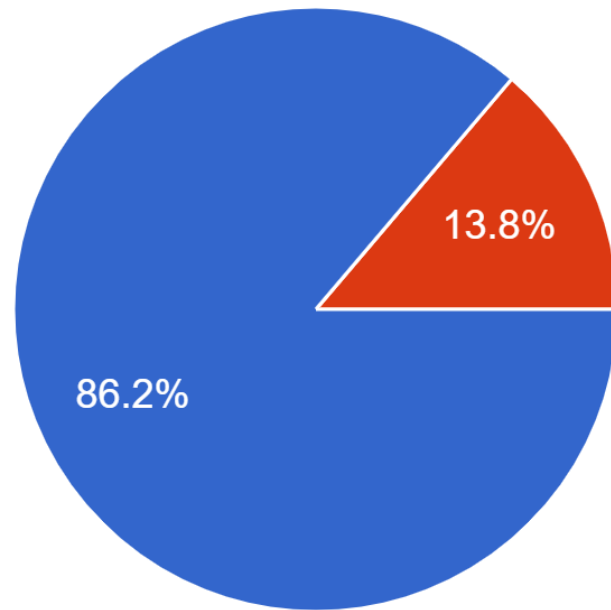


- とても学ぶことができた
- 学ぶことができた
- あまり学ぶことができなかった
- 学ぶことができなかった

アセスメント

お子様（選手）を韓国遠征に参加させて良かったですか？

29 件の回答

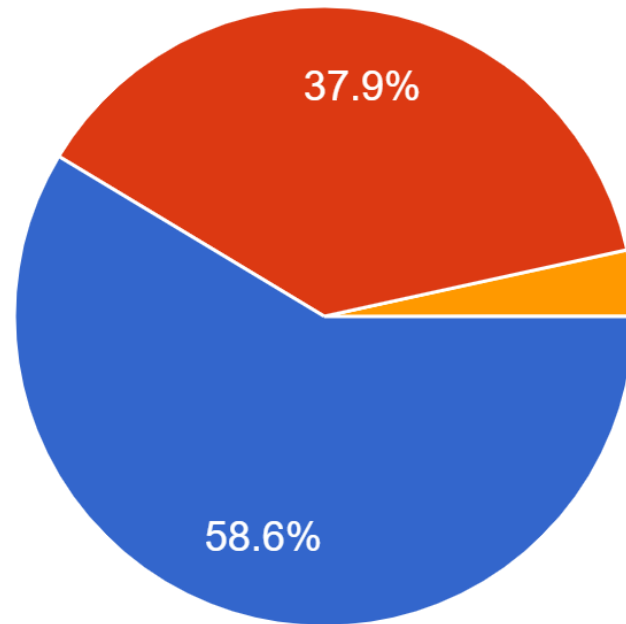


- とても良かった
- 良かった
- あまり良くなかった
- 良くなかった

アセスメント

韓国遠征後、選手に変化成長を感じていますか？

29 件の回答



- とても良い変化・成長を感じている
- 良い変化・成長を感じている
- あまりよい変化・成長を感じていない
- まったく良い変化・成長を感じていない